

第 11 回双葉町復興まちづくり委員会 議事概要

- 日 時 : 平成 25 年 4 月 24 日 (水) 午後 1 時 00 分～午後 4 時 30 分
- 場 所 : 双葉町役場埼玉支所 4 階 家庭科室
- 出席者 : 別紙座席表のとおり
- 議事概要

1. 開会
2. 議事

議事の冒頭において、委員長から、4月3日の委員会を受けて、委員長・副委員長にて部会長・副部会長と相談の上で作成された素案について提示。素案の取扱いについては、本日の審議を踏まえて修正されていくものなので、本日は委員限りとする旨を説明。

- (1) 双葉町復興まちづくり計画の基本理念について

資料 3 に基づき、事務局より説明後、計画の基本理念について、以下のとおり決定した。

- 生活再建の決意

「暮らしの復興をめざして みんなで頑張ろう 双葉町」

- 町民の絆・結びつき

「つなげよう つながろう 双葉町」

- 町の再興への決意

「子どもたちの未来のために とりもどそう 美しいふるさと双葉町」

- (2) 双葉町復興まちづくり計画の素案について

資料 2、4 に基づき、事務局より説明後、質疑。委員の主な意見は、以下のとおり。

- 「双葉町の復興に向けた道のり」のイメージ図において、「町民のきずなの維持・発展の取組」や「ふるさとの荒廃を防ぎ、ふるさとへ思いをつなぐ取組」が、短期から長期まで同じ取組を継続していくように書かれているが、これらについても短期でやるべき取組があるので、短期と中期の間に区切りを設けるべき。

- 「双葉町の帰還の在り方は科学的知見を踏まえて、十分な議論をする」となっているが、この科学的知見とは具体的にどういうことか。

- 科学的知見とは、空間線量率だけでなく、土壌汚染、飲み水、放射性核種等を様々な多角的な部分から見ていく。その中で、医学、物理学、化学等の専門家の意見を通して、健康被害が出ないかを考えていかなければならないと思う。

- 町民として、年間 1 m Sv 以下等の基準がしっかり打ち出せた方がすご

く安心できる材料になると思う。しかし、空間線量率だけで帰還を考えるのではなく、福島第一原子力発電所の状況も踏まえながら、帰還を考えていかなければ、町民は安心できないと思う。

- 科学的知見とはどういうことをいうのかの説明を付記してはどうか。
- 帰還できると思っている科学者や帰還は長い時間がかかると思っている科学者がいるので、科学者の立場で言う事が違うという事を明確にして上で、議論することは重要な問題になっていくと思う。
- 高齢者のための建物として、グループホームや特別養護老人ホーム等は当然あるべきだと思うので、若者が集まりたいと思うまちづくりよりも高齢者が住みたいと思うまちづくりを先にすべきだと思う。また、介護施設ができれば、雇用促進にもなり、職員を養成する学校等を建てれば、若者も集まってくると思う。
- 高齢者と子どもの交流の場をつくり、各地区の歌や手遊びを教えてもらうことができれば、伝統文化を伝えることができると思う。
- 基本的な部分は素案のとおりでいいと思う。ただ、実際に実施する段階で、より詳しくやっていった方がいいのではないかな。
- 双葉町での暮らしや生活体験等を引き継ぐことは大変重要だと思う。双葉町のつながりを持った中で、そのつながりをどのようにしていくかということは重要だと考える。
- 双葉町の歴史・伝統・文化の記録と継承では、人のつながりだけでなく、空間的なつながりをつくっていく上で、短期の取組は極めて重要な課題である。
- 「1 m Sv」と「20m Sv」の根拠・データを参考資料の最後でもいいから添付することができないか。

本日の意見の取扱いを含めて、素案の修正については委員長に一任することとされ、5月上旬に開催される委員会においてとりまとめを行い、町長へ報告することとされた。

(3) その他

3. 閉会

第11回双葉町復興まちづくり委員会座席表

(敬称略)

岡村 隆夫
三井所 清典
鈴木 浩

1 日時 平成25年4月24日(水)

全体 13:00~16:30

2 場所 双葉町埼玉支所 4階家庭科室

福島復興局 須田 亨 参事官補佐	(関係者)	高野 重紘	清水 修二	駒田 義誌	相楽
福島復興局 野中 貞一朗 参事官補佐		高野 泉	宇杉 和夫	事務局 山本 一弥	事務局 橋本(靖)
福島復興局 いわき支所 鈴木 誠 次長		大橋 庸一	木村 真三		
福島復興局 いわき支所 横山 大輔 参事官補佐	(関係者)	井上 六郎	竹原 天	今泉 祐一	吉野
福島県 避難地域復興課 阿部 栄一郎 総括主幹兼副課長		中村 富美子	藤田 博司	武内 裕美	事務局 伊藤
福島県 生活拠点課 皆川 雅光 副課長		岩元 善一	齊藤 宗一		
	(関係者)	日野 俊隆	中村 希雄	平岩 邦弘	中山
		松本 浩一	木幡 敏郎	渡辺 勇 (代理) 渡部 政一	事務局 橋本(憲)
		荒木 幸子	鵜沼 友恵	山下 正夫	
			伊澤 慶昭	大橋 利一	事務局